

GHQ/SCAP Records (RG 331, National Archives and Records Service)

Description of contents

- (1) Box no. 2828
- (2) Folder title/number: (18)
No Title
- (3) Date: Jan. 1950 - Mar. 1951

(4) Subject:

Classification	Type of record
9750	i

(5) Item description and comment:
Kanto

(6) Reproduction: Yes No

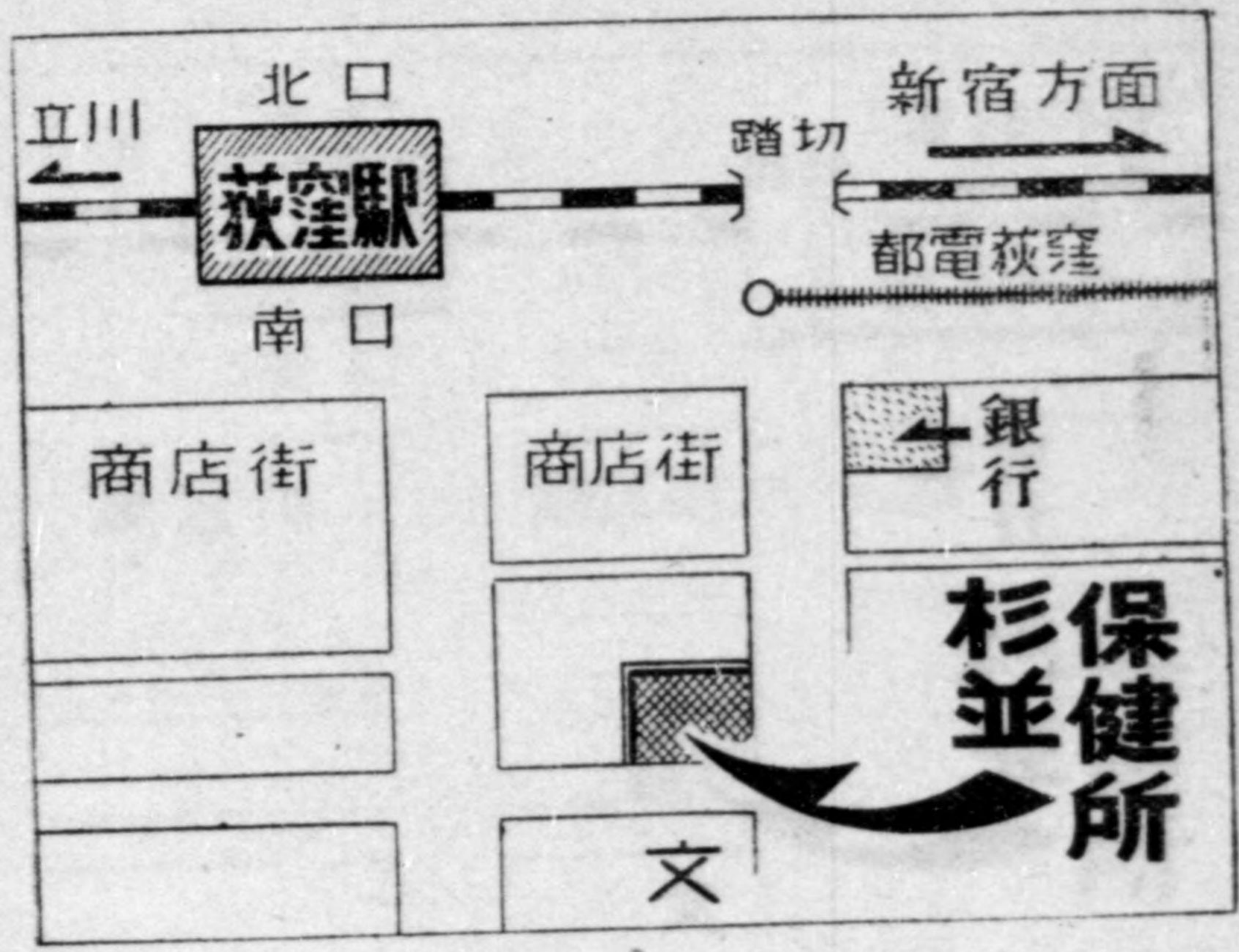
(7) Film no.

Sheet no.

(Compiled by National Diet Library)

保健所案内

杉並保健所



保健所とはどういう所でしよう

皆さん、憲法第二十五條を御存じでしょうか。それは、こうです。

「すべて國民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。國はすべての生活部面について社會福祉、社會保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」。

さて皆さん、「公衆衛生、いいかえると皆さんの保健衛生についての仕事をする役所はどこでしよう」と聞くと、

「それは、國では厚生省、都道府縣では衛生局(部)」と、たれでも答えます。しかし、その先の肝腎の皆さんの保健衛生を直接守り、その向上を、はかっている役所は、どこであるかを、正しく答えられる人は少ないと思います。まさか、いま時「それは警察」。という人もありますまいが、たいていは「區役所」と答えるでしょう。中には見當ちがいにも、「病院だ」という人もあるかも知れませんが、ここまで言えば、もうおわかりになったと思いますが、それが保健所なのです。

ところで、皆さん、病氣になつてから治療するのと、病氣にかからないようにすること、どちらが大事なことでしよう。少くとも國としては、どちらに重點をおくべきでしようか。

それは言うまでもないことです。公衆衛生の目的は病氣にかからないようにすること（豫防）病氣をなくすこと（撲滅）という、積極的な面にあります。

病院が必要であることはもち論です。しかし、最近まで日本では、こういう方面ばかりに力が用いられて、日本の醫學は治療醫學だけが發達していったのです。

病氣になつてしまつた人を、いくら立派な病院で、すぐれた技術で治療していても、この日本からは病氣は減つてはゆきません。そこで、病氣にならないようにするための學問の必要がさければ、その爲の設備の擴充と改善がとえられ、憲法第二十五條の主旨にそつて、それが實行されています。

そこで公衆衛生の實踐機關として生れたのが保健所なのです。ですから保健所とは、むづかしく言えば公衆衛生の第一線機關でありますし、くだけて言うとき皆さんの中にあつて、皆さんと共に皆さんのため保健衛生の向上と増進を目ざして仕事をしてゐる役所です。保健衛生について皆さんの御相談をうけ、指導をし、サービスをする所です。言つてみれば、衛生行政の役所と病院とを綜合したような所です。

さて、公衆衛生の向上増進といつても、それは色々な面からやつて行く必要があります。それで保健所には十七係があつてそれ／＼仕事を分擔しています。ではその係々の仕事について少し詳しくお話し致しましょう。

保健所ではどういう仕事をしているか

新しい保健所法にもとずいて保健所の仕事として次の十二項目がきめられました。

- 保 健 婦 事 業
- 母 子 衛 生
- 衛 生 統 計（人口動態統計並に傳染病統計を含む）
- 細 菌 検 査 及 び 各 種 試 験 檢 査
- 齒 科 衛 生
- 榮 養 改 善
- 環 境 衛 生
- 衛 生 教 育

傳染病豫防
結核豫防
性病豫防

警察社會事業

これを各係は次のようにしてやつてゆきます。

家のまわりや街を清潔に衛生的に

われわれが健康な文化的な生活をするためには、まずわれわれの家、家のまわり、そして街が清潔で衛生的でなければなりません。ハエやノミや蚊がわかないようにし、鼠退治もしなければなりません。こういうことはわれわれ自身でやらなければならないことです。しかし、われわれ自身の手ではどうにもならないこともありますし、また身近なことでもわからないこともあります。そこで保健所に御相談になり又は御報告を下されば、直に皆様のお手傳をし、色々と指導してさし上げることが出来ます。これが環境衛生係の仕事です。係の環境衛生監視員は、映画館、浴場、旅館や理髪店などの人の出入りする所や人の集る場所を見まわつて、そういう場所がいつも清潔で衛生的になつてい

(4)

るように氣をつけ、不潔な所へDDTを撒布したり、少しでも街がきれいになるように努めているです。

安心して食べられる食料品

さあ、家はきれいになりました。街も清潔になりました。けれども、われわれの毎日の食べものが衛生的でなかつたら、われわれは安心してられません。いつ食中毒したり傳染病にかかるかわかりません。その不安を除くのが食品獣醫係の仕事です。食品衛生監視員は毎日食べものを取扱う店、食品製造工場、飲食店など見まわつて、食べものが衛生的であるか、またそれを衛生的に取扱つているかに注意し、業者を指導しています。

どの店にも、A、B、Cで、採點した衛生監視成績票が目につきやすい場所にはつてある筈です。お買いものに、いらしたら、これに注意して下さい。採點の良いお店ほど衛生上優秀な店です。このような店だけをお得意にして下さい。

(5)

なお人間に關係のある動物の病氣、たとえば狂犬病などの豫防についての仕事をするのもこの係で

傳染病豫防
結核豫防
性病豫防
警察社會事業

これを各係は次のようにしてやつてゆきます。

家のまわりや街を清潔に衛生的に

われわれが健康な文化的な生活をするためには、まずわれわれの家、家のまわり、そして街が清潔で衛生的でなければなりません。ハエやノミや蚊がわかないようにし、鼠退治もしなければなりません。こういうことはわれわれ自身でやらなければならないことです。しかし、われわれ自身の手ではどうにもならないこともありますし、また身近なことでもわからないこともあります。そこで保健所に御相談になり又は御報告を下されば、直に皆様のお手傳をし、色々と指導してさし上げることが出来ます。これが環境衛生係の仕事です。係の環境衛生監視員は、映書館、浴場、旅館や理髪店などの人の出入りする所や人の集る場所を見まわつて、そういう場所がいつも清潔で衛生的になつてい

(4)

るように氣をつけ、不潔な所へDDTを撒布したり、少しでも街がきれいになるように努めているのです。

安心して食べられる食料品

さあ、家はきれいになりました。街も清潔になりました。けれども、われわれの毎日の食べものが衛生的でなかつたら、われわれは安心してられません。いつ食中毒したり傳染病にかかるかわかりません。その不安を除くのが食品獣醫係の仕事です。食品衛生監視員は毎日食べものを取扱う店、食品製造工場、飲食店など見まわつて、食べものが衛生的であるか、またそれを衛生的に取扱つているかに注意し、業者を指導しています。

どの店にも、A、B、Cで、探點した衛生監視成績票が目につきやすい場所にはつてある筈です。お買いものに、いらしたら、これに注意して下さい。探點の良いお店ほど衛生上優秀な店です。このような店だけをお得意にして下さい。

(5)

なお人間に關係のある動物の病氣、たとえば狂犬病などの豫防についての仕事をするのもこの係で

家畜傳染病豫防委員という専門の獣醫がおりますから御相談して下さい。

乏しい食料で充分な榮養を

安心して食べられる食料品が皆さんの手に入るように食品衛生監視員が毎日働いていることは今お話ししました。さて、われ／＼は、どういう食料品を買つて來たいでしょう。また、それをどうしようふうに調理したらいいでしょう。

われ／＼の體を維持し、われ／＼の體力を向上させるためには、合理的な調理のし方が必要です。ことに現在のように品不足で、しかも高價な食料品しか手に入らない時には一層の工夫がいろいろあります。また赤ちゃんの離乳期の食べものや病人の榮養は、どうしたらいいでしょう。皆さんの、こう言つたことの御相談につてさし上げ、また調理のし方などを實地にお見せしたりするのが、榮養係の仕事です。

(6)

丈夫な赤ちゃんは科學的な育て方で

皆さんの赤ちゃんは丈夫に育つていられますか。體重も身長も標準までいつていますか。またお乳

は正しく上げていらつしやいますか。離乳のし方に御不審はありませんか。愛情だけでは優良兒にはなりません。時々母子衛生係來て科學的な育て方について御相談下さい。

子供たちは知らないうちに病氣にかゝつてることがあります。念のための健康診断が是非必要です。また小さい子供たちの命とりになる百日ぜきや、はしか(麻疹)、ジフテリアなどの傳染病にかからないように、また、かかつても軽くすむように豫め豫防注射を受けましょう。

健康な赤ちゃんは健康な母體から

(7)

健康な赤ちゃんは健康なお母さんから生れます。とりわけ、赤ちゃんがお腹の中にいる間の注意が必要です。妊娠しているお母さんの體に異常はありませんか。

妊娠したら必ず産婦人科の専門醫か、助産婦に診てもらいましょう。異常があつては大變です。

お腹ばかりではなく、全身の健康診断を受けなければなりません。また、知らない間に梅毒にかかつています。妊娠したら血液検査も必ず忘れないようにしましょう。

こういうことも皆母子衛生係が御相談に應じますし、また保健婦がお伺いして皆さんの御相談相手

にもなり、色々とお世話をします。

結核は豫防出来る

結核にかかったら病院へ、結核にかからないためには保健所へおいで下さい。自分では健康だと思つても知らない間に結核にかかっていることがよくあります。ツベルクリン反応をしてもらい、レントゲン写真もとつてよく検査してもらいましょう。

どんな病氣でもそうですが、ことに結核は早く見つけて、早く治療を受けることが何よりです。検査して、もし、あなたが結核だったら病院や療養所へお世話致します。また、ツベルクリン反応が陰性（これはまだ結核に感染していない證據ですが）だったら、CBGの注射を受けて結核にかからないようにしなければなりません。

保健所の結核係は病院とちがつて、治療はしないのが原則ですが、軽い患者には氣胸療法だけは致します。また保健所で診察を受けた患者ばかりでなく、醫者から届出があつた区内の患者のお宅へは保健婦が訪問して、自宅療法の注意や看護のし方や、家族の人たちへの注意などくわしく御指導致します。

(8)

病人をかかえてお困りの方は

醫者にみてもらつて病名がきまり、療養の方針がわかつても、さてどうしたらいいか。經濟の問題もありませんし、色々とお世話をします。

そういう方は醫療保護係へおいで下さい。

醫療保護係は民生委員や社會福祉機關と連絡をとつて、法規や施設を充分に活用して皆さんの事情に適した、よい方法を御相談致します。

性病はなおる。合理的な治療を受けましょう

性病にかかつたら、すぐしつかりした専門醫の診察を受けなければなりません。衛生を守つて、合理的な規則正しい治療を受ければ、性病は完全になおります。保健所には十分な設備もありますし、治療も徹底的に致します。しかし保健所の性病係の仕事は、治療だけが目的ではありません。

みんなが性病にかからないように指導をし、色々な相談を受け、また性病をうつした人を探し出して、その人に治療を受けさせて性病患者がふえないよう性病患者がなくなるように努力しています。

(9)

結婚前に健康診断

これから結婚される若い皆さん、あなた方の幸福、子孫の幸福、いや民族の発展のためには何より結婚前の健康診断が大切です。全身の身体検査、ことに胸部レントゲン検査、血液、尿などの検査をしなければなりません。健康満点の診断書を交換して幸福な結婚のスタートを切りましょう。

きれいな丈夫な歯は年二回の検査で

むし歯でお困りの方はありませんか。さぞかし歯の痛みで苦しみ、入れ歯で苦勞なさつたことでしょう。お父さんやお母さんは、かあいとお子さんたちにこんな苦しみはさせたくないとお思いでしょう。むし歯は豫防出来ます。悪くなつてからの治療より、むし歯にならないように手當することが大切です。歯科衛生係でそのための相談や指導をうけ、豫防的の處置をしてもらいましょう。もち論、入れ歯や何かの必要があれば、よい先生の所えお世話も致します。

傳染病豫防はまず豫防注射から

發疹チフスや日本腦炎の恐しさは身にしみています。こういう急性傳染病（腸チフスや赤痢もこの中に入りますが）は早くなくしてしまいたいものです。それには、しかし、皆さんが自分の體にだけ氣をつけていけばいいと言うのでは不充分なのです。近所から患者が出ないように、區から、都からいや日本中から急性傳染病がなくなるように心がけなければなりません。

「それは役所のすることだ。われわれの仕事ではない。」という氣持ではいけません。急性傳染病は恐しい。しかし日本にはもうベストやコレラや天然痘などは見られません。敗戦直後あれ程はやつた發疹チフスも翌年からは散發的にぼつ／＼しか出なかつたのはなぜでしょう。それは衛生當局の活動によることはもち論ですが、民衆の協力があつたからです。

まず、豫防注射を受けましょう。家の中は勿論、便所や臺所、家のまわりを、きれいに衛生的に、食べものに氣をつけましょう。

さて保健所の活動ですが、急性傳染病患者が出ると、主治醫から早速保健所へ届出があります。すると防疫係はすぐさまその患者を傳染病院へ送つて隔離すると同時に、環境衛生係と協力して患者の家その周囲を消毒します。そして、病毒にさらされた患者の家の人や近所の人の健康診断をし、豫防注射をして、その傳染病がひろがって行くのを防ぐのです。

しかし防疫係の仕事は傳染病が出た時だけではないので、いつも傳染病が出ないように毎日皆さんの目に見えない活動をしているのです。

かい虫やトラホーム豫防は手を洗うことから

かいちゆう（蛔虫）十二指腸虫とトラホーム（急性傳染病もそうですが、）こんな病氣が多いのは文化程度が低い證據です。しかし、現在のわれわれの生活情況では蛔虫などがわくのもやむを得ないことです。われわれは自分で氣をつけるよりし方がありません。何より手をよく洗うことです。子供の腹痛は虫によることが多いようです。時々便をしらべて貰わなければなりません。卵が見つかれば虫くだし（サントニン）をあげます。

この蛔虫、トラホーム、それから癩病などをなくす仕事をやっているのは豫防係です。

保健婦は保健所の前衛

病院に看護婦がいるように、保健婦がいます。しかし看護婦が保健所えつとめれば保健婦といわれるわけではないのです。保健婦は特別の教育を受けた職業婦人です。ちように、保健所と病院とが

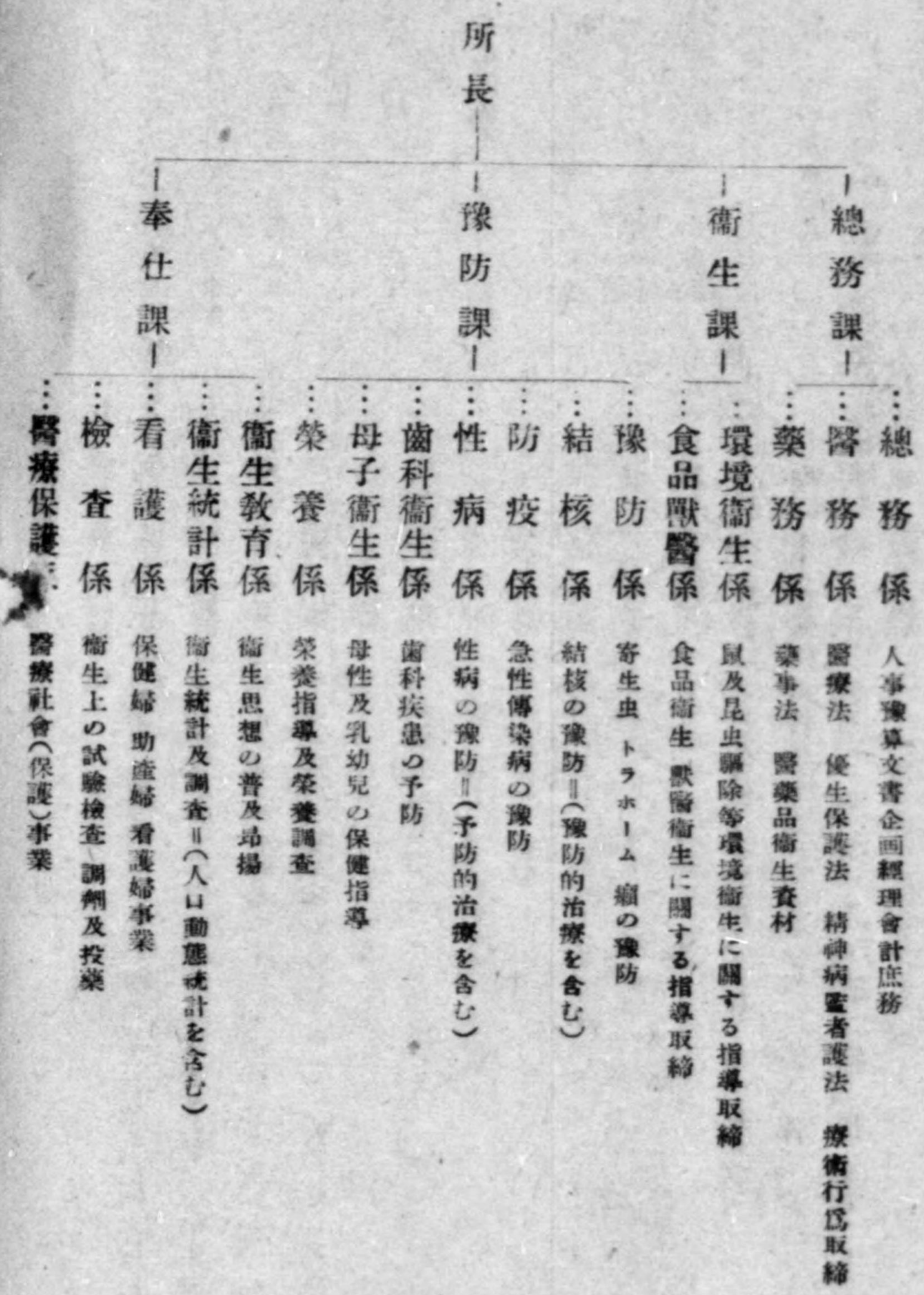
がうように、仕事も自らちがつています。保健所内では醫者の診療の手つだい（介補）もしますが、直接皆さんにお会いして、病氣にかからないための御相談相手にもなります。もつと重要な仕事は前にもお話したとおり、結核で自宅療法している人、妊産婦、赤ちゃんたちの家を訪問して色々とお世話し、御相談あい手にもなります。是は直接保健所え来た人だけにではありません。開業している先生がたの患者の所えもお伺いします。また性病をうつした人を探しにゆくのも保健婦の仕事です。要するに、病人の看護ではなく、皆さんが病氣にかからないように、病氣をこの社會からなくすための色々な仕事をする重要な役です。保健所は公衆衛生の第一線ですが、保健婦はその保健所の前衛です。

氣がかりな事は検査で解消

メチール入りのあぶない酒、水質のわるい水から痰や尿、大便、血液の検査など、衛生に關係のある検査は何でも致します。検査係の窓口え検査物をもつて氣輕においで下さい。お醫者さんからの検査もお引きうけています。

保健所内での診療の時の検査はもち論この係の仕事です。

杉並保健所組織



月曜	受付時間 午前8時30分より 午前9時30分まで	成人保健指導 齒科診療	乳幼児保健指導 妊産婦保健指導 乳児調乳實地指導 齒科診療	小中高 生徒保健指導 齒科診療	木曜	乳幼児保健指導 妊産婦保健指導 栄養實地指導 齒科診療	金曜	成人保健指導 齒科診療	土曜	小中高 生徒保健指導 齒科診療
		胸療療 氣診診 工科病 人齒性	胸療療 氣診診 工科病 集團性	議 會 議 母の會 (第三水曜) 午後1時から		治療 病集團 性病集團 性集	胸療療 氣診診 工科病 人齒性			

(結核、性病は火、金 午後5時より同6時まで)
 次の業務は毎日行う 1.急性傳染病予防 2.予防接種
 3.栄養指導 4.試験及検査 5.醫療社會事業
 6.訪問指導 7.環境衛生

昭和25年3月15日印刷 (非賣品)
 昭和25年3月15日發行
 編集兼發行所 東京都杉並保健所
 東京都杉並區荻窪3-145
 電話荻窪(39) 2,988
 3,018

検 査 票

記入欄	住所					受付月日	昭和	年	月	日	
	氏名	年齢	材料	目的	成績	投薬					
	摘要					決定月日	昭和	年	月	日	傍印

上記の通り証明する

東京都杉並区荻窪3-145
 東京都杉並保健所検査係
 東京都立衛生研究所細菌部杉並出張所
 電話 (39) 2988. 3018

治療日程表

1 號

月 日	検査	治療	月 日	検査	治療
	血 検				B
		M B		血 検	M
		M			M
		M B			M
		M			M
		M B			M
		M			M
		M B			M
		M			M
		M B		血 検	M B
		M			M
	血 検	M B			M B
		M			M
		M B			M B
		M			M
		M B			M B
		M			M
		M B			M B
		M			M
	血 検	B		血 検	
		B			
		B			

一、二、
 Mは週二回
 Bは週一回
 Mはマフアルゾール
 Bは次サリチル酸蒼鉛

注 意

治療が終つても治つたではありません。3年間は用心しなければなりません。

(第1年目) 治療が終つてから1ヶ月日に1回、それから後は3ヶ月毎に

(第2年目) は6ヶ月毎に

(第3年目) の終に1回

これだけの血液検査の結果が全部陰性で、症状も全く現われず、また家族その他の人に傳染した様子がなかつた時、あなたの病氣は完全に治つたと言えるのです。

治療日程表

2號

月 日	検査	治療	月 日	検査	治療
	血 検	B		血 検	B
		B			B
		B			B
		B			B
	血 検	M		血 検	M
		M			M
		M			M
		M			M
		M			M
		M			M
		M			M
		M			M
	血 検	M B		血 検	M B
		M			M
		M B			M B
		M			M
		M B			M B
		M			M
		M B			M B
		M			M
		M B			M B
		M			M
		M B			M B
		M			M
		M			M
				血 検	

一、二、
 Mは週二回
 Bは週一回
 マフアルゾール
 Bは次サリチル酸蒼鉛

注 意

治療が終つても治つたではありません。3年間は用心しなければなりません。

(第1年目) 治療が終つてから1ヶ月日に1回、それから後は3ヶ月毎に

(第2年目) は6ヶ月毎に

(第3年目) の終に1回

これだけの血液検査の結果が全部陰性で、症状も全く現われず、また家族その他の人に傳染した様子がなかつた時、あなたの病氣は完全に治つたと言えるのです。

診 療 票

昭和	年度	東京都 保健所併設性病診療所	擔當者	主治醫	保健婦
診療票番號					
家族番號					

住所： 區 町 番地 市 村	勤務先：				
姓名： 殿	性別：	職業			
	年齢：	(年 月 日生)	本人	戸主	

初診： 前年度診療票番號	轉歸： 年 月 日	治 療 中 止 轉 院 (所) へ 紹 介
--------------	-----------	-------------------------------

來訪狀況：
 (1) 自發的來訪 (2) 開業醫紹介 (3) 警察より送致 (4) 他の性病診療施設より紹介
 (5) 接觸者調査により送致 (6) 強制検診により送致 (7) その他
 紹介者又は送致者 ()

診 斷：

届出病名：	届出月日： 年 月 日
-------	-------------

家族歴： 父 母 兄弟姉妹

結婚 年 月 日

夫 妻

子供 (現在、 名) (死亡 名) (妊娠 流産 早産 死産)

既往歴：

梅毒	軟性下疳
淋病	第四性病
其他	

主訴：

現症：

接 觸 者 :				
1	姓 名	性別	年 齡	職 業
	住 所	勤 務 先		
患者との関係		接 觸 日	接 觸 場 所	
2	姓 名	性別	年 齡	職 業
	住 所	勤 務 先		
患者との関係		接 觸 日	接 觸 場 所	
3	姓 名	性別	年 齡	職 業
	住 所	勤 務 先		
患者との関係		接 觸 日	接 觸 場 所	
4	姓 名	性別	年 齡	職 業
	住 所	勤 務 先		
患者との関係		接 觸 日	接 觸 場 所	
5	姓 名	性別	年 齡	職 業
	住 所	勤 務 先		
患者との関係		接 觸 日	接 觸 場 所	
感 染 源 :		種 別 :		
接 觸 者 番 號 ()		(1)業態者 (2)密賣淫者 (3)友人 (4)夫 (5)妻 (6)母 (7)客 (8)外國人 () (9)其 他		

細菌學的検査：

A. 顯微鏡所見(暗視野)

(塗抹標本) 1. 尿道分泌物

2. 前立腺分泌物

3. スキーン腺分泌物

4. バルトリン腺分泌物

5. 子宮頸部分泌物

6. その他

B. 培養所見

尿検査：

第1杯

第2杯

色	比重	蛋白	糖
鹽類結晶	インヂカン	ウロビリノーゲン	圓錐
上皮細胞	粘液	赤血球	白血球
細菌(淋菌 細胞内)	外	結核菌	その他)

血清學的検査：

血清ワ氏反應							
同 村田氏反應							
同 井出氏反應							
腦脊髄液ワ氏反應					伊藤氏反應		
〃					フライ氏反應		

治療判定：

現 症 歴 :

感染機会 年 月 日 感染場所

發 病 年 月 日 (感染機会後 日)

發病時の症状

來訪までの治療(有 無) 受 診 年 月 日

受 診 場 所

治 療

その後の経過

現 症 所 見 :

第 号

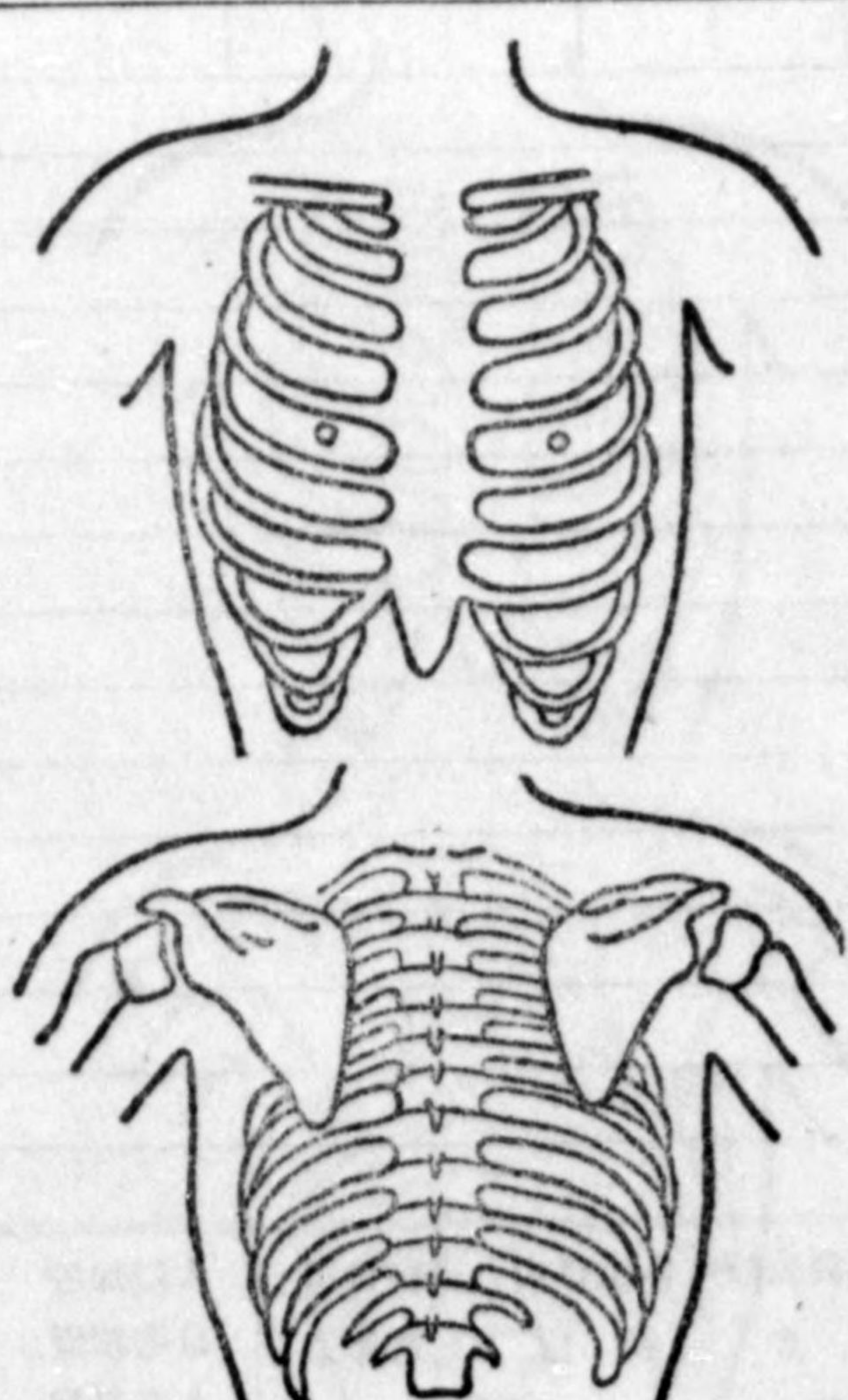
診 察 券

受付日 昭和 年 月 日
 氏名 男 女
 年令 才
 住所

東京都杉並保健所

指導用紙

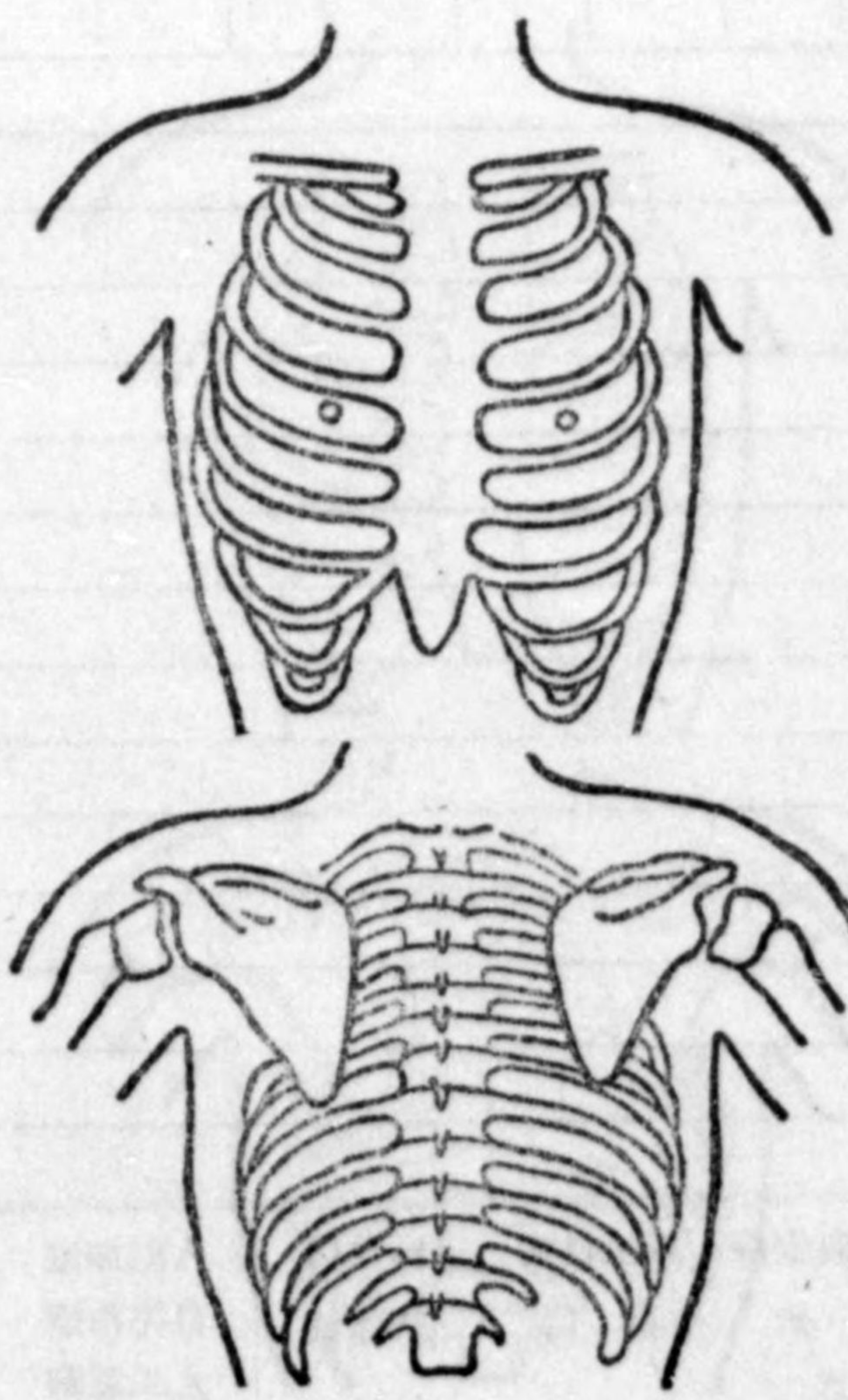
訪問カード番號	
氣胸カード番號	

同居人 既往 往 現在	肋膜炎 左・右(歳) 療養所 自 年 月 日至 年 月 日	肺門膿炎 左・右(歳)	肺結核 左・右(歳)	體温 身長 胸圍 肺活量 熱感 食慾 睡眠 便通 肩凝 疲勞 羸瘦 盜汗 動悸 呼吸困難 浮腫 咳嗽 咯痰 血痰 胸痛 頭痛 飲酒 喫煙 月經 帶下	届出月日 昭和 年 月 日
					
	赤沈 ツ反 ヲ寫(直接・間接) ヲ透 檢尿 檢便 徴反				
	診察書證明書提出先				

紹介者
 紹介先
 届出月日 昭和 年 月 日

保健指導用紙

番號			訪問カード番號			氣胸カード番號																									
退所患者	初診	昭和 年 月 日 曜日	住所	方																											
	氏名	男 女	本籍																												
同家族	生年月日	明治・大正・昭和 年 月 日 歳	結婚	未・既	歳	職業	元休	務先																							
	戸主職業	続柄	現居	自	年 月	出生地	府	縣市町村																							
	世帯主職業	關係	居住期間	年 ヶ月間	生地		移住先																								
診 斷	要注 意 要 要 要 要 要						家族 診 問	要 訪 問																							
	家 族 歴	祖 母	父 母	環 境	自 宅 部 別 採 換 水 經 濟 上	借 家 疊 數	間 借 居 生 活	傳 染 源	感 染 機 會 傳 染 源 と の 關 係 家 人 友 人 近 接 機 會 自 至 類 度 每 日	有 無 同 居 人 年 月 稀 れ																					
	病 往 歴	既 往	肋膜炎 左・右(歳)	肺門膿炎 左・右(歳)	肺結核 左・右(歳)	體 温	身 長	胸 圍	肺 活 量	熱 感	食 慾	睡 眠	便 通	肩 凝	疲 勞	羸 瘦	盜 汗	動 悸	呼 吸 困 難	浮 腫	咳 嗽	咯 痰	血 痰	疼 痛	胸 頭	飲 酒	喫 煙	月 經	帶 下		
	診 斷 書 證 明 書 提 出 先	往 在	療 養 所 自 年 月 日 至 年 月 日	現 在																											
昭和 年 月 日																															
赤沈		ツ反		レ寫(直接・間接)		レ透		檢尿		檢便		微反																			



紹介者
紹介先
届出月日 昭和 年 月 日

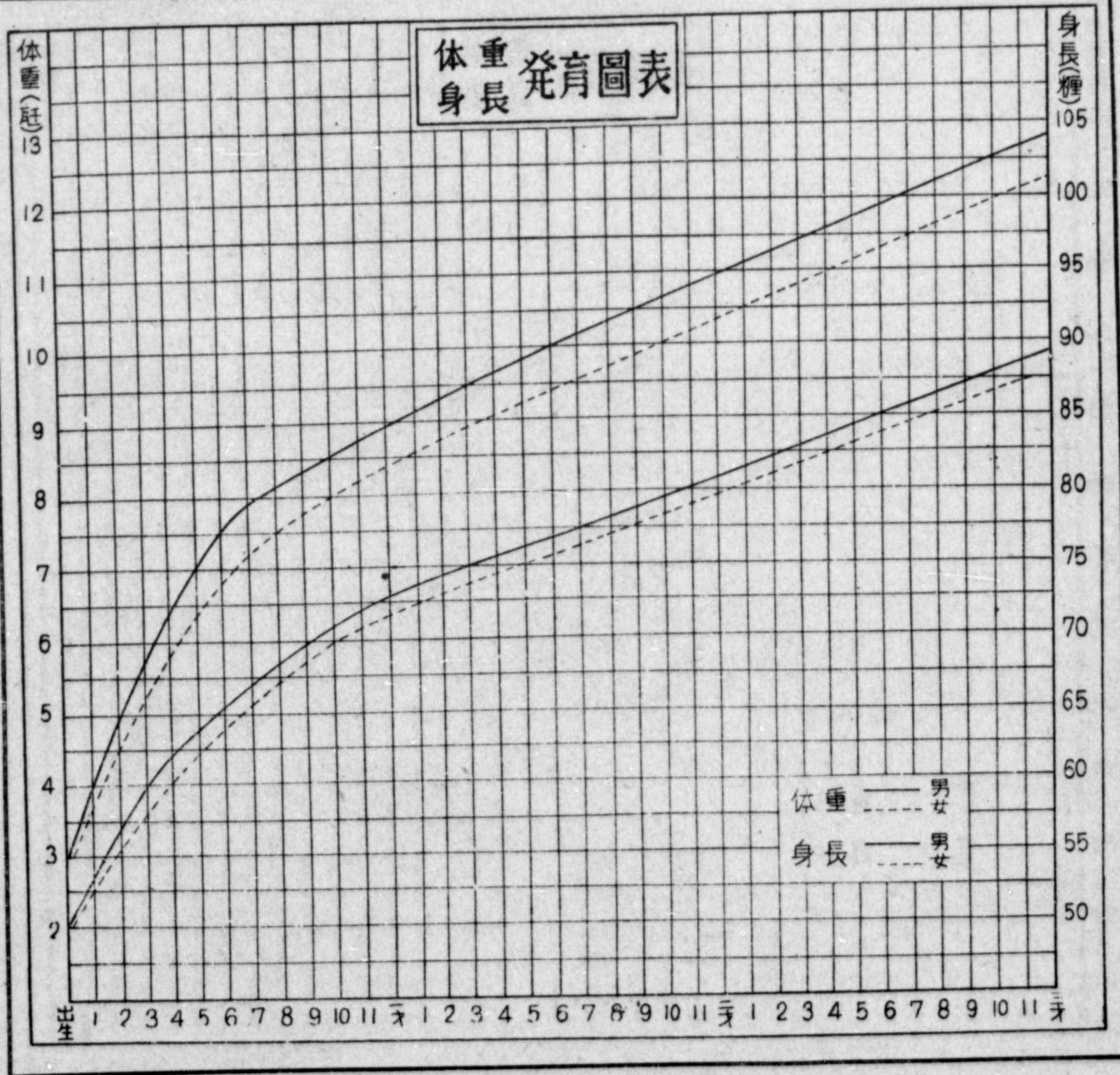
小兒健康相談票

昭和 年 月 日

番号 No. _____

姓名	男女 家業		人工 混合 母乳 出生 BCG T 要訪	
誕生日	昭和 年 月 日 (歳 ヶ月)		保護者	住所
環境	自家 借家 間借 一戸建 長屋 間敷	室 疊数 疊	家族数 人	周囲: 静 中 騒
	日當り: 良 中 否	採光: 良 中 否	温氣: 少 中 多	生活程度 上 中上 中下 下
家 族	父	年令 才 身長 体重	普健 傾病 病氣 死亡(病名)	既往主疾患
	母	年令 才 身長 体重	普通 傾病 病氣 死亡(病名)	既往主疾患
	血族結婚 ナラズ ナリ ()		酒 : 少 中 多 結婚年令 才	
	酒 : 少 中 多 結婚年令 才		煙草: 少 中 多	
同 胞	名	性	現在又ハ死亡年令	熟 早 流 乳 兒 期 健 康 状 態 (又 ハ 死 亡 原 因)
	1	男女		熟 早 流 死 母 混 入 工 普 通 虚 弱 病 氣 死 亡 (病 名)
	2	男女		熟 早 流 死 母 混 入 工 普 通 虚 弱 病 氣 死 亡 (病 名)
	3	男女		熟 早 流 死 母 混 入 工 普 通 虚 弱 病 氣 死 亡 (病 名)
	4	男女		熟 早 流 死 母 混 入 工 普 通 虚 弱 病 氣 死 亡 (病 名)
	5	男女		熟 早 流 死 母 混 入 工 普 通 虚 弱 病 氣 死 亡 (病 名)
	6	男女		熟 早 流 死 母 混 入 工 普 通 虚 弱 病 氣 死 亡 (病 名)
	7	男女		熟 早 流 死 母 混 入 工 普 通 虚 弱 病 氣 死 亡 (病 名)
出 生	妊娠中母ノ健康状態: 頑健 普健 傾病 病氣 (): 悪阻 弱 中 強: 安産 難産 鉗子 手術			
	出生時体重	瓦	熟 未熟 早産 (ヶ月): 單生 双生	産褥経過: 常 否 離床 (日 目)
	出産場所: 自宅 助産婦宅 産院 病院 (名 稱) 貫兒 離別 死別			
既 往 歴	種 痘 才 月 普感 顆	消化不良症 才 輕 中 重	咳 嗽 シ 難 イ 時 ヶ シ 易 イ	
	麻 疹 才 月 輕 中 重	下痢又ハ便秘 シ 難 イ 時 ヶ シ 易 イ	皮 膚 病 シ 難 イ 時 ヶ シ 易 イ	
	百 日 咳 才 月 輕 中 重	風 邪 シ 難 イ 時 ヶ シ 易 イ	ヒキツケ シ 難 イ 時 ヶ シ 易 イ	
	チフテリア 才 月 輕 中 重	肺門腺腫脹 胃ハレタ事ナシ アリ	盜 汗 カキ 難 イ 時 ヶ シ 易 イ	
肺 炎 才 月 輕 中 重	結核性疾患 ナシ アリ	其 他 ノ		

相 談	健康診査 離乳方法				嘔吐 發熱 咳嗽				
	榮養方法 其他				下痢 喀痰 盜汗				
現 在	機嫌: 良 中 否	食慾: 良 中 不良	便通 日 回 良 否 便秘	運動機能發育					
	睡眠: 良 中 否	偏食: 有 無	(黃 綠 灰色 軟 硬 水樣) 顆粒 粘液 酸臭 腐敗臭						
歴 法	既往	母乳: 多 中 少 無 理由(分泌不全 發育不全 貧兒 手術 病氣)						首ノ据リ	ケ月
	現在	混合: 牛乳 粉乳 煉乳 穀粉 代用乳 ケ月ヨリ ケ月迄						寝返リ	ケ月
歴 法	人工:	離乳: 未着手 添食開始(ケ月) 未完了 完了(才 ケ月)						エンコ	ケ月
	授乳: 規則的 時間毎 不規則							ツカマリ立チ	ケ月
測 定	体重	頭圍	腹圍	皮厚	呼吸數				
	身長	胸圍	上膊圍	体温	℃ 脈搏數				



体格: 大 中 小		榮養: 良 中 不良		容桂: 正 屈 側彎		年 月 日 1.		×	
皮膚	色	正常	貧血狀	蒼白	黃疸	間擦疹	-	+	卅
	緊滿	良	中	低下		脂漏	-	+	卅
	軟弛	(バスターズ)				濕疹	-	+	卅
	濕乾	絨	粗			膿痂疹	-	+	卅
皮膚	デルモグラフィー						-	卅	+
リンパ	頸	右	左	+	卅	頸下腺	-	+	卅
頸	頸	右	左	-	卅	鼠蹊腺	-	+	卅
頭部	頭型	正常	異常	頭蓋癆	-	+	卅		
	大額門	閉	開	縫合	閉	開	觸		
	毛髮	脫毛	無	有	靜脈怒張	無	有		
眼	フリクテン	無	有	結膜炎	無	有			
	眼球乾燥症	無	有	トラコーマ	無	有			
鼻	正常	鞍狀	鼻閉	鼻分泌					
耳	耳聾	少	中	多	聽力	正常	異常		
	耳漏	無	有	(右左)	兩側				
唇	濕乾	正常	蒼白	紫紅色	龜裂				
舌	濕乾	舌苔	地圖狀舌	無	有				
顔貌	常	否	白痴様						
歯	齒	清潔	汚	5 4 3 2 1	1 2 3 4 5				
	齲齒	現在	本	5 4 3 2 1	1 2 3 4 5				
	齒列	正常	異常	初生齲	ヶ月				
咽頭	正常	發赤							
扁桃腺	正常	肥大	(123度)	手術					
胸部	胸廓	正常	鳩	漏斗	扁平	帶溝	不同	細長	念珠
	心	濁音界	正常	肥大					
	臟	濁音	正常	異常					
	肺	打診	正常	異常					
臟	聽診	正常	異常						
腹部	視診	正常	隆起	陷沒					
	觸診	正常	異常						
臍	正常	ヘルニア	脾臟	否	觸(横指)				
陰部	正常	股腸	陰囊水腫	潜伏辜丸	間擦疹				
四肢	上肢		骨端	正常	肥大				
	下肢		手掌	足跡	浸潤	無			
神経系	運動	正常	異常	膝蓋反射	正常	亢進	減弱	消失	
	知覺	正常	異常	アヒレス腱	正常	亢進	減弱	消失	
				腹壁反射	正常	亢進	減弱	消失	
智能指及			バビンスキー	-	+	+			

ツベルクリン反應
陽性轉化 年 月 日
年 月 日(透寫間) 年 月 日(透寫間)
レ
ン
ト
ゲ
ン
B
C
G
血
沈
W
R
大
便
尿
血液
診
定
備
考

寫眞番号

月 日 量:
月 日 量:
月 日 量:

年月日 | 30分 | 1時間 | 2時間 | 室 温

父 - 卅 + 卅
本人 - 卅 + 卅
母 - 卅 + 卅
普通軟粘液 水様 酸臭 腐敗臭
寄生虫卵 - 卅 + 卅 ()
蛋白 - 卅 + 卅 糖 - 卅 + 卅
検査番号 血色素 赤血球
頑健 虛弱 病氣
普健 要注 要治 要休 要療
月 日

東京市

小學校兒童診察用紙



番號		東京市		昭和 年 月 日			
兒童氏名	男 女	學年 組	檢查時		滿 才		
保護者	氏名 住所	職業		區 町 丁目 番地 方			
既往症	(年前)	現在病氣ノ有無 (病名)					
小學校 規定檢査	身長	体重	胸圍	榮養			
頸腺腫脹・大中小		扁桃腺肥大・有無	フリクテン・有無	貧血・有無			
赤血球沈降速度	検査日	I時間	II時間	M	ツ皮内反應	記 號	
						卅 卅	
						十 十	
						一	
検査日	體 温	脉 搏	倦 怠	胸 痛	頭 痛	咳 嗽	其 他
月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日

診断記號

		早期浸潤	陰翳	石灰沈着	空洞
レントゲン検査透・寫	肺野	上			
		中			
		下			
	肺門部				
	肺尖				
	肋膜				

母性健康相談記録票

保健指導
 栄養指導
 医療社会事業
 家族番号

受付番号 _____ (昭和 年 月 日受付)

姓名 _____ 住所 _____ 原簿 _____

年齢 歳(年 月 日生) 職業 家業 _____ 本人の職業 _____

家族歴 父 健(歳) 死亡(歳) 病名 _____
 母 健(歳) 死亡(歳) 病名 _____
 同 人(中 番目)

昭和 年 月 日
 女性 氏名 _____
 尿道分泌物
 左前立腺
 右 " "
 子宮頸部分泌物

歳	ヶ月	配偶者	年齢	歳	職業()
歳	ヶ月	者	疾病		
続:	日間	随症	終	經	
	多,中,少		自	月	日
			至	月	日
分娩経過(熟・早・死・流産別・難易)			出生児の健否	産褥	

昭和 年 月 日
 男性 氏名 _____
 尿道分泌
 前立腺分泌
 検尿

既往疾患

相談事項

現在妊娠 最終月経 自 昭和 年 月 日 至 昭和 年 月 日

経過 悪阻様症状 分娩予定日: 昭和 年 月 日

胎動初感 分娩予定場所:

ワ氏反応診

母性健康相談記録票

保健指導
 栄養指導
 医療社会事業
 家族番号

受付番号

(昭和 年 月 日受付)

姓名

住所

原簿

年齢

歳(年 月 日生)

職業

家業

本人の職業

家族歴

父

健(歳) 死亡(歳) 病名

母

健(歳) 死亡(歳) 病名

同胞

人(中 番目)

結婚

初婚

歳 ヶ月

離婚

歳

ヰ月

配偶者

年齢 歳, 職業()

経過年数

年 ヶ月

再婚

歳

ヰ月

疾病

月経

初

経

正順:

早, 遅

持続:

日間

随症

終 経

歳

月

不順:

量:

多, 中, 少

自 月 日

歴日

歳

月

周期:

: 型

至 月 日

既往の
 褥産, 妊

回数

妊 娠

経 過

分娩

年令

分娩経過(熟, 早, 死, 流産, 別, 難易)

出生児の健否

産 褥

1

2

3

4

5

6

7

8

9

既往疾患

相談事項

現在妊娠
 経過

最終月経 自 昭和 年 月 日

至 昭和 年 月 日

悪阻様症状

分娩予定日: 昭和 年 月 日

胎動初感

分娩予定場所:

ワ氏反応診

X 線 寫 真 日 付 番 號	昭和	年	月	日	第	號	X 線 寫 真 日 付 番 號	昭和	年	月	日	第	號	
	昭和	年	月	日	第	號		昭和	年	月	日	第	號	
	昭和	年	月	日	第	號		昭和	年	月	日	第	號	
	昭和	年	月	日	第	號		昭和	年	月	日	第	號	
1	月	日	2	月	日	3	月	日	4	月	日			
赤 沈	1	2	24	m.w	赤 沈	1	2	24	m.w	赤 沈	1	2	24	m.w
5	月	日	6	月	日	7	月	日	8	月	日			
赤 沈	1	2	24	m.w	赤 沈	1	2	24	m.w	赤 沈	1	2	24	m.w
9	月	日	10	月	日	11	月	日	12	月	日			
赤 沈	1	2	24	m.w	赤 沈	1	2	24	m.w	赤 沈	1	2	24	m.w

年	月	日	カルテ番号
姓名			
尿	蛋白	糖	
尿	虫卵	虫回 十二指	潜血
ワツセルマン			
村田、北研			
醫師			

安 静 5_7 度 生 活 基 準 表

安静度	5	6	7	
安 静 時 間	午後1-2時間			
入 浴	1週間に1回	随 時	随 時	
髪 洗	10日に1回	1週間に1回	随 時	
裁縫、洋裁、編物	1 時 間	2 時 間	3 時 間	
炊事、洗ひもの	最少限よい	よ い	よ い	
洗 濯	小さいものはよい	よ い	よ い	
は き 掃 除	よ い	よ い	よ い	
ふ き 掃 除	い け ない	よ い	よ い	
買物配給物とり	最少限よい	よ い	よ い	
映 画、音 樂 會	1月に1回はよい	2週間に1回はよい	1週間に1回はよい	
散 歩	1時間以内	随 時	随 時	
通勤(通學)時間	30分以内	1時間以内	1時間内外	
勤務(授業)時間	4 時 間	6 時 間	8 時 間	
作 業	机上事務	机上事務	輕 勞 働	
勉 强 時 間	1 時 間	2 時 間	随 時	
旅 行	い け ない	最少限よい	よ い	
畠 の 世 話	30 分	1 時 間	随 時	
タイプ、樂 器	30 分	1 時 間	随 時	
禁 止 事 項	夜 勤	夜 學	ス ポ ー ツ	海 水 浴
	日 光 浴	酒、煙草	買 出 し	遠 足
	野 球 見 物	聲 樂	薪 割 り	體 操 (學 課 として)
就 寢 時 間	午後9時30分嚴守			

775013

安 靜 時 間 表

安靜 度	1		2		3		4	
	時	起 床	時	起 床	時	起 床	時	起 床
午	6.30	起 床	6.30	起 床	6.30	起 床	6.30	起 床
	7.00	洗面 (床上)	7.00	洗面 (床上)	7.00	洗面 (床上)	7.00	洗面 (床上)
	7.30	朝食 (床上)	7.30	朝食 (床上)	7.30	朝食 (食卓)	7.30	朝食 (食卓)
	8.00		8.00		8.00		8.00	
前		絶對安靜	9.00	讀書	9.00	讀書		讀書
			11.00	安靜		安靜		又は輕作業
	12.00	晝食 (床上)	12.00	晝食 (床上)	12.00	晝食	12.00	晝食
	1.00		1.00		1.00		1.00	
午		絶對安靜		絶對安靜		絶對安靜		絶對安靜
			3.00		讀書			
	5.00	夕食	5.00	夕食	5.00	夕食	5.00	夕食
	6.00		6.00		6.00		6.00	
後		絶對安靜		安靜		自由時間		自由時間
	8.00		就寢		8.00		就寢	

檢溫時間 午前6時30分、11 午後3時、7時

安 静 1 - 4 度 生 活 基 準 表

安 静 度	1	2	3	4
洗 面	ねたまゝ付添にして もらふ	床 上 で す る	洗 面 所 で す る	洗 面 所 で す る
食 事	ねたまゝ付添に手傳 つてもらふ	床 上 で す る	食 卓 で す る	食 卓 で す る
讀 書	禁 止	午 前 1 時 間	午 前 2 時 間 午 後 1 時 間	安 静 時 間 以 外 は よ い
ラヂヲ聴取	禁 止	夕 食 後 の 短 時 間	安 静 時 間 以 外 は よ い	安 静 時 間 以 外 は よ い
面 會、談 話	禁 止 又 は 15 分 以 内	1 時 間 以 内	2 時 間 以 内	隨 時
散 歩、歩 行	禁 止	禁 止	屋 内 の み よ い	屋 外 も よ い (15-30分以内)
入 浴、清 拭	清 拭 の み	清 拭 の み	清 拭 の み	入 浴 も よ い (1週間に1回)
髪 洗	禁 止	1 月 に 1 回 (人にしてもらふ)	1 月 に 1 回	1 月 に 2 回
外 來 受 診	禁 止	禁 止	2 ヶ 月 に 1 回	1 月 に 1 回
尿 器 使 用	使 用	使 用	必 要 な し	必 要 な し
便 器 使 用	使 用	使 用 (又 は 便 所)	必 要 な し	必 要 な し
身 の ま わ り の こ と	人 手 を か り る	枕 も と の 整 理 の み	1 時 間 以 内	隨 時

東京都杉並區荻窪三丁目一四五番地

東京都杉並保健所

電話荻窪(39)二九八八番
三〇一八番

家庭に於ける結核豫防十則

皆さんの家に結核の患者さんがゐるならば次のことを必ず實行しましょう。
患者さんも治ります。家の人もうつる事なく安心して働けます。

- 一、結核は必ず治ります。診察を早く受け入院を早くしましょう。
- 二、患者さんは専用の部屋にねてもらいましょう。それが出来なければ、屏風や障子で部屋を區切りましょう。
- 三、空気がよいかよう、日當りのよい部屋を病室にあてましょう。
- 四、患者は自分の寢床に獨りで寝るようにしましょう。
- 五、患者の部屋のお掃除は、先づ「ほうき」次に「雑巾」で「はたき」は止めましょう。
- 六、患者の洗面道具、食器類、タオル、下着類、衣類は、他の人と一緒にするのはいけません。
- 七、患者のものの、洗濯は、家族のものとは、はつきり區別してやりましょう。
- 八、痰を吐き散らすのはやめましょう。
- 九、患者の痰や便は洩れなく、うまく消毒し、他の人がそれから病氣をうつされることのない様にしましょう。
- 十、乳のみ子、子供や青少年は、ばい菌を出す患者さんに近よらないようにすることが必要です。

No. _____

口腔衛生指導票

杉並保健所

1. 良い歯で良く噛み丈夫な体を作りましょう。
2. むし歯や他の口の病気になる様先づ豫防しましょう。
3. 夜寝る前も歯を磨きましょう。
4. むし歯は小さい間に早く治しましょう。
5. 豫防はかかりつけの歯の先生か保健所へ相談に行きましょう。
6. 歯の検査は一年二回位是非致しましょう。
7. 歯科医院に行きましたら之を歯科の先生へ渡して下さい。

1. あなたの口はきれいです。もつときれいにして下さい。	
2. 歯石 (俗に言う歯しお) を取る必要がある。	ない。
3. むし歯の豫防處置 (弗化ソーダの塗布等) の必要がある。	ない。
4. 治療を必要とするむし歯。	上 本 下 本
5. 抜かなければならない歯。	上 本 下 本
6. 歯槽膿漏 (又は歯肉の炎症)	上—右の奥、前歯、左の奥、下—右の奥、前歯、左の奥
7. 悪い歯ならび、軽い、重い、矯正の必要がある。	ない。
8. その他の病氣	

切.....取.....線.....

No.	—此の方を治療をした歯科の先生へ—				
お 願 ひ	處置が終つたら種別 (例へばインレイ、抜歯等) 其の他を記入して切り取り御面倒でも毎月末にまとめて必らず保健所へお送り下さい。				
患者氏名	殿	歯科醫師氏名			殿
部位	處置の種別	終了 月日			
		/			/
		/			/
備考					
送り先				杉並保健所歯科	

家族番號

住居狀況	環境の衛生状態・良、中、不良
	自家・借家(月 圓)・間借(月 圓)・船・階建、長屋、地代(圓)
	室數(室) 疊數(疊) 家族數(人) 一人當疊數(疊) 台所専、共、浴室
	日當り・良、中、不良 換氣良、中、不良 清潔度・良、中、不良 整頓良・中、不良 乾・濕
經濟狀況	使用水・水道水、井水、専用、共用 便所・水洗、汲取、専用、共用、戶外
	家族の生活程度 (方面カード種別による) 上 中 下 町會費(圓 錢)
	世帯主收入
	其他の收入
其他	毎月の平均収入 毎月の平均支出
其他	家族の融和状態
	其他社會事業機關との關係
	家族員の健康生活態度
備考	

世帯主

住所

家族狀況 姓

近親者 健康状態

同居人 健康状態

家族番號 _____

世帶主名 _____

東京都立

保健所

家庭調査票

家族番號

住居狀況	環境の衛生状態・良、中、不良	
	自家・借家(月 圓)・間借(月 圓)・船・階建、長屋、地代(圓)	
	室數(室) 疊數(疊) 家族數(人) 一人當疊數(疊) 台所専、共、浴室	
	日當り・良、中、不良 換氣良、中、不良 清潔度・良、中、不良 整頓良・中、不良 乾・濕	
經濟狀況	家族の生活程度 (方面カード種別による) 上 中 下 町會費(圓 錢)	
	世帯主收入	
	其他の收入	
	毎月の平均收入	毎月の平均支出
其 他	家族の融和状態	
	其他社會事業機關との關係	
	家族員の健康生活態度	
備 考		

世帯主

住 所

家族狀況

姓

近親者

健康状態

同居人

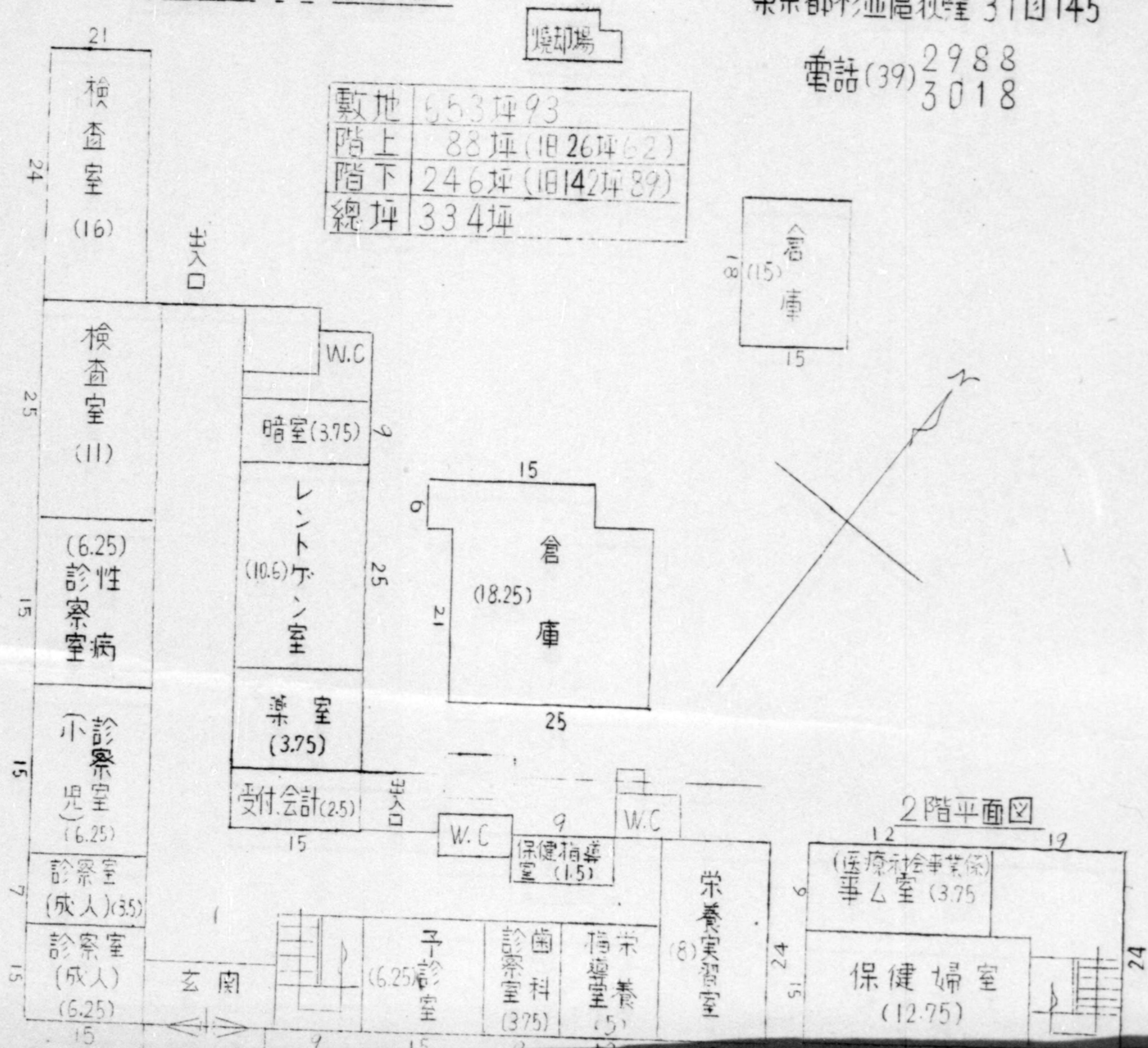
健康状

杉並保健所平面図

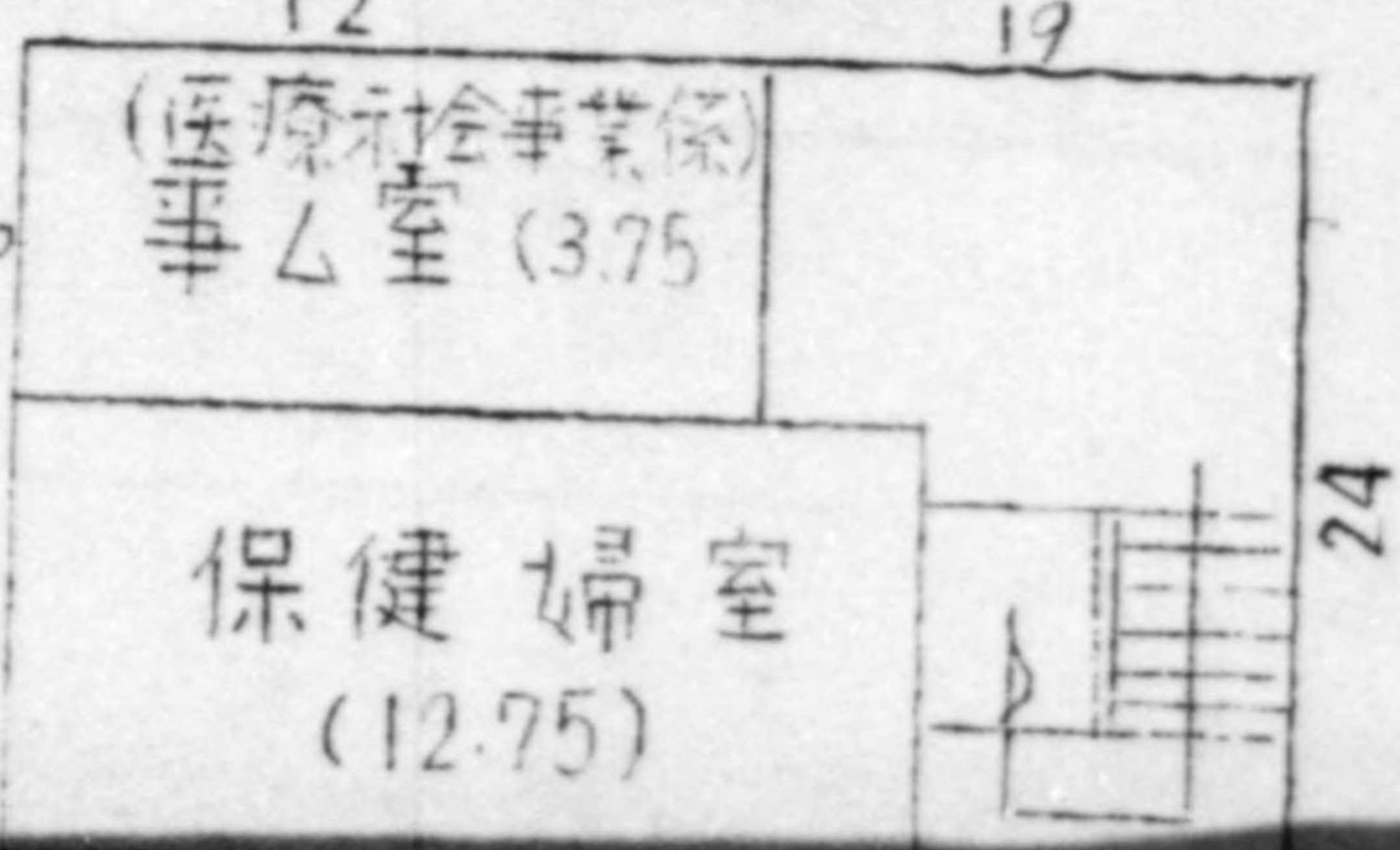
東京都杉並區萩窪 3丁目 145

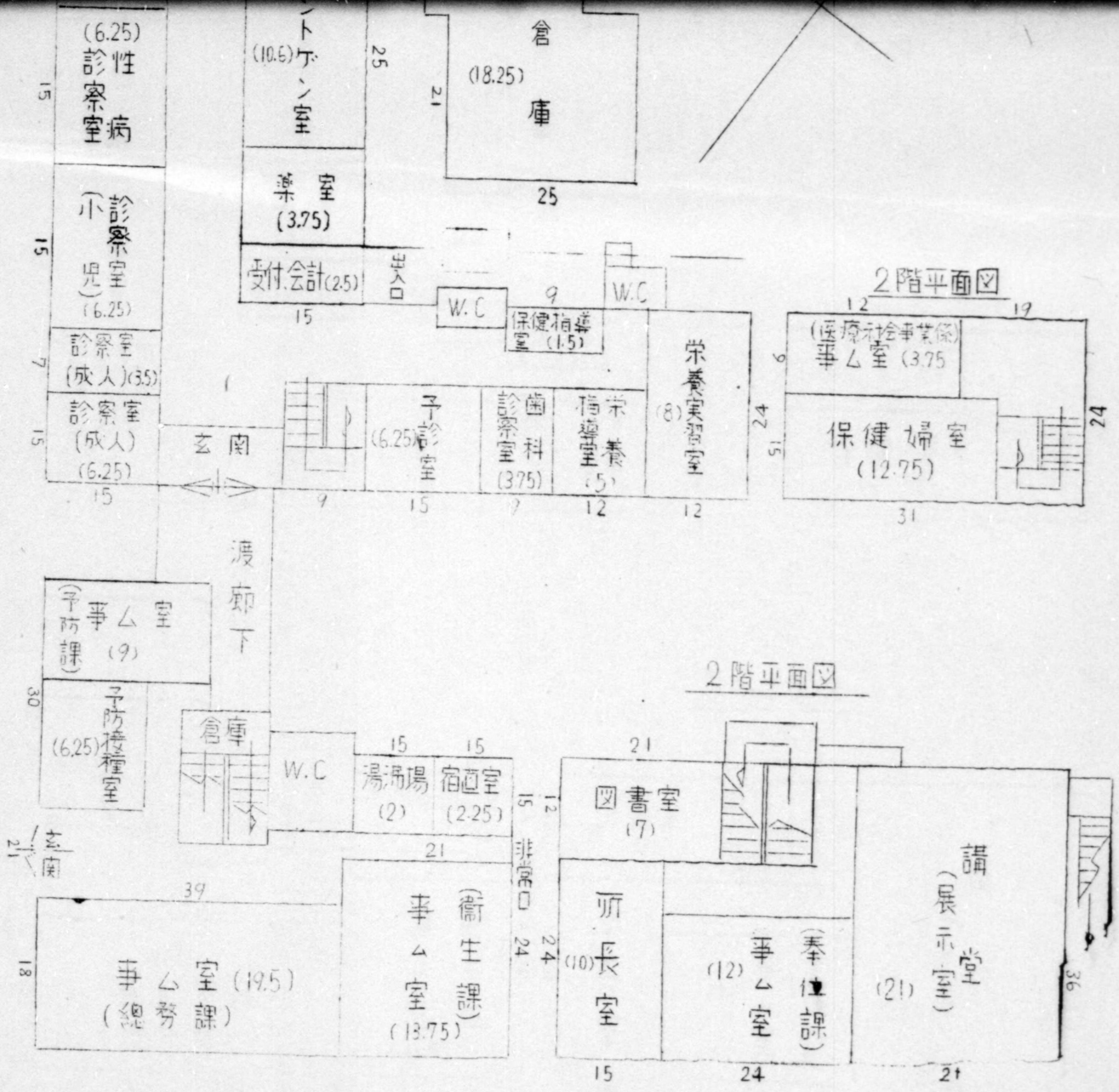
電話(39) 2988
3018

敷地	653坪93
階上	88坪(旧26坪62)
階下	246坪(旧142坪89)
總坪	334坪



2階平面図





結核患者指導区分

指導区分	A	B 要注意	C 要監察	D ₁ 要治療	D ₂ 要休
指導方針	健康者 又は健康者と同じ取扱を受けるもの	(1) 就業可 (2) 過労防止	(1) 運動禁止 (2) 軽労働 (3) 配置転換 (4) 生活規正	同 左	(1) 就業 (2) 療養
医療指導	健康者と同じ取扱を受けるもの	外來3~6ヵ月に一回精密検査	外來又は往診 1~3ヵ月に一回精密検査	同 左 人工氣胸療法	往診又は外來精密検査
療養事例	健康者と同じ取扱を受けるもの	(1) 「ツ反心」陽転後1年以内のもの (2) 肋膜炎経過後2ヵ年以内のもの (3) 非活動性停止性結核症	(1) 「ツ反心」陽転後1ヵ年以内で赤沈促進せるもの (2) 肺門性結核症 (3) 非活動性結核症の内増悪の慮ある者 (4) 肺陰影消失又は肋膜炎経過後1ヵ年以内のもの	人工氣胸療法の適応症	(1) 活動性限局性 (2) 活動性閉鎖性 (3) 新鮮な初感染 (4) 滲出性肋膜炎
備考	患者の實際指導にあたっては、理学的所見、血沈その他の検査所見環境などを考慮して指導する。				

X線所見分類基準

間接撮影像			直接		
I	石灰化巣		I	石灰化巣	
II	肋膜炎	A 肋膜炎病変天幕形成等の軽微な変化	II	肋膜炎	A 肋膜炎
		B それ以上の変化		B それ以上	
III	肺門淋巴線腫脹			III	肺門淋巴線腫脹
IV	肺病変	A 限局性変化	IV	肺病変	A 軽
		B 広汎性変化			B 中等
		C 空洞を認めるもの			C 重
V	疑わしい陰影		V		

備考

- (1) 石灰化巣は肺門肺野とも I に入れる
- (2) 直接像では滲出性肋膜炎が判明する場合もあるので II C を独立させる。
- (3) 肺門淋巴線腫脹は明かな腫脹状のみを入れる。

- (4) IV A の限局性とは大凡用
- (5) 直接像の IV の A, B, C は限

結核患者指導区分

監 察	D ₁ 要 治 療	D ₂ 要 休 養	E 要 療 養
勤 禁 止 働 勞 置 転 換 活 規 正	同 左	(1) 就 業 禁 止 (2) 療 養 日 課	(1) 入 院 治 療 (2) 療 養 日 課
本 往 診 に 1 回 精 密 検 査	同 左 人 工 氣 胸 療 法	往 診 又 は 外 来 1 ~ 3 ヶ 月 に 一 回 精 密 検 査	入 院 1 ヶ 月 に 1 回 精 密 検 査
陽 転 後 1 ヶ 年 以 内 戻 進 せ る も の 結 核 症 性 結 核 症 の 内 増 悪 る 為 消 失 又 は 肋 膜 炎 1 ヶ 年 以 内 の も の	人 工 氣 胸 療 法 の 適 応 症	(1) 活 動 性 限 局 性 結 核 症 (2) 活 動 性 閉 鎖 性 結 核 症 (3) 新 鮮 な 初 感 染 結 核 症 (4) 滲 出 性 肋 膜 炎 の 一 部	(1) 閉 鎖 性 進 行 性 結 核 症 (2) 広 汎 性 空 洞 性 結 核 症 (3) 外 科 的 手 術 適 応 症 (4) 急 性 粟 粒 結 核 症 (5) 滲 出 性 肋 膜 炎 (6) 喉 頭 腸 腹 膜 背 骨 関 節 等 の 結 核 性 合 併 症 を 有 す る も の (7) 結 核 性 腦 膜 炎

内 所 見、血 沈 そ の 他 の 検 査 所 見 環 境 な ど を 考 慮 し て 指 導 区 分 を 決 定 す る。

線 所 見 分 類 基 準

影 像	直 接 撮 影 像		
	I	石 灰 化 巣	
等 の 軽 微 な 変 化	II	肋 膜 病 変 A 肋 膜 竇 病 変 天 幕 形 成 等 の 軽 微 な 変 化 肥 厚 等 B それ 以 上 の 癒 着 肥 厚 等 C 滲 出 性 肋 膜 炎	
		III	肺 門 淋 巴 線 腫 脹
		IV	肺 病 変 A 軽 症 B 中 等 症 C 重 症
	V		

(本 基 準 は ア メ リ カ 国 民 結 核 協 会 の 指 示)

(4) IV A の 限 局 性 と は 大 凡 肋 間 程 度 の ひ ろ が り を さ す。
(5) 直 接 像 の IV の A、B、C は 陰 影 の ひ ろ が り 性 質 な ど も 考 慮 に 入 れ て 決 め る。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO.

775013



集團検診個人票

連名簿 番 號	ツ 昭和 年 月 日		問 接 昭和 年 月 日			
氏 名	男 女	満 年 令	集 團 名			
住 所	區 町 丁目		番 地 方			
病 歴						
ツ 反 應	前 回	年 月 一 + +	今 回	- + + - 〇 - -		
B C G	前 回	年 月 接 種 ・ 否	今 回	接 種 ・ 非 接 種		
間 接 番 號 :		× 線 像 區 分	I	精 檢		
			IIA IIB	要 ・ 不 要		
			III	家 族 番 號		
			IVA IVB IVC			
		V				
指 導 區 分		A	B	C	D	E
ト ラ ホ ー ム	症 状	重	輕	疑 似	な し	
	處 置	従 業 停 止		治 療	無 處 置	

杉 並 保 健 所

通知書

番 地

月 日 生

ましたので下記事
条に基き御通知い

意して下さい。

さい。

て使わせるときは

目して下さい。

(5) 爪を短く切り顔、手指の清潔に注意して下さい。

(6) 専門医師の治療を受けて下さい。

昭和 年 月 日

東京都杉並保健所長 塚 原 國 雄

集團檢診個人票

連名簿 番 號	ッ反 昭和 年 月 日			間接	昭和 年 月 日		
氏 名		男 女	滿 年 令	集 團 名			
住 所	區	町	丁 目	番 地	方		
病 歴							
ッ反 應	前 回	年	月	-	+	+	今 回
				-	+	+	-
B C G	前 回	年	月	接 種 ・ 否	今 回	接 種 ・ 非 接 種	
間 接 番 號 :	×	I					精 檢
	線	IIA IIB					要 ・ 不 要
	像	III					家 族 番 號
	區	IVA IVB IVC					
	分	V					
指 導 區 分	A B C D E						
ト ラ ホ ー ム	症 狀	重 輕 疑 似 なし					
	處 置	從 業 停 止 治 療 無 處 置					

杉 並 保 健 所

知書

番地

月 日 生

したので下記事
に基き御通知い

意して下さい。

い。

使わせるときは

して下さい。

(5) 爪を短く切り顔、手指の清潔に注意して下さい。

(6) 専門医師の治療を受けて下さい。

昭和 年 月 日

東京都杉並保健所長 塚 原 國 雄

住所

氏名

殿

知書

昭和 年 月 日

番地

東京都杉並保健所

月 日生

精密検査について

レントゲン間接撮影の結果胸部に疑わしいところがありますから更に精しい検査が必要です。

したので下記事
に基き御通知い

月 日に御出下さい

意して下さい。

料金は次の通りであります

直接撮影	円
赤 沈	円
喀痰検査	円

い。
使わせるときは

して下さい。

(5) 爪を短く切り顔、手指の清潔に注意して下さい。

(6) 専門医師の治療を受けて下さい。

昭和 年 月 日

東京都杉並保健所長 塚原 國雄

住所

氏名

殿

知書

昭和 年 月 日

東京都杉並保健所

番地

精密検査について

月 日生

レントゲン間接撮影の結果胸部に疑わしい
ところがありますから更に精しい検査が必
要です。

したので下記事
を基き御通知い

月 日に御出下さい

料金は次の通りであります

して下さい。

直接撮影	円
赤沈	円
喀痰検査	円

知らせるときは

して下さい。

(5) 爪を短く切り顔、手指の清潔に注意して下さい。

(6) 専門医師の治療を受けて下さい。

昭和 年 月 日

東京都杉並保健所長 塚原 國雄

「トラホーム」検診結果通知書

住所 東京都 区 町 丁目 番地

氏名 殿

年 月 日生

「トラホーム」検診の結果 {重症
軽症
疑似} と決定いたしましたので下記事
項を厳守なさるよう「トラホーム」予防法第一條に基き御通知い
たします。

記

- (1) 患者の手拭は専用とし その消毒清潔に注意して下さい。
- (2) 洗面器は患者用と健康者用に区分して下さい。
- (3) 若し患者の使つた手拭洗面器の類を他人に使わせるときは
煮沸するか又は熱湯で洗つて下さい。
- (4) めやにを拭うには清潔な専用の布片を使用して下さい。
- (5) 爪を短く切り顔、手指の清潔に注意して下さい。
- (6) 専門医師の治療を受けて下さい。

昭和 年 月 日

東京都杉並保健所長 塚 原 國 雄

「トラホーム」検診結果通知書

住所 東京都 区 町 丁目 番地

氏名 殿

年 月 日生

「トラホーム」検診の結果 {重症
軽症
疑似} と決定いたしましたので下記事
項を厳守なさるよう「トラホーム」予防法第一條に基き御通知い
たします。

記

- (1) 患者の手拭は専用とし その消毒清潔に注意して下さい。
- (2) 洗面器は患者用と健康者用に区分して下さい。
- (3) 若し患者の使つた手拭洗面器の類を他人に使わせるときは
煮沸するか又は熱湯で洗つて下さい。
- (4) めやにを拭うには清潔な専用の布片を使用して下さい。
- (5) 爪を短く切り顔、手指の清潔に注意して下さい。
- (6) 専門医師の治療を受けて下さい。

昭和 年 月 日

東京都杉並保健所長 塚 原 國 雄

集團検診結果の通知書

住所 東京都 区 町 丁目 番地
氏名 殿

年 月 日生

検査の結果あなたは下記 I.I.I の通り判定いたしましたので御通知いたします

記

I. 要注意

- (1) いまは進む様子はありませんが不注意に過すと重い肺結核になるおそれがありますから3カ月に1回は定期的に医師の診察を受け、レントゲン寫真をとつて下さい。自分で気がついていなくても肺結核にかつていることがあります。
- (2) 軽い仕事は差支えありませんが筋肉を多く使う仕事はさげなければなりません。
- (3) 栄養に気をつけて睡眠を充分に取つて下さい。

II. 要休養

- (1) 肺に結核性の変化があつて、なお進行のおそれがありますから仕事を休み安静にして下さい。
- (2) 栄養に気をつけて人工気胸のできる人は早く受けて下さい。
- (3) 1カ月に1回は病状の進み具合を見るため「レントゲン」寫真をとつて医師の指示を受けて下さい。
- (4) 一般状態がよく、痰の中に結核菌の出ない人は人工気胸

ので御通知いたします

記

I. 要注意

- (1) いまは進む様子はありませんが不注意に過すと重い肺結核になるおそれがありますから3カ月に1回は定期的に医師の診察を受け、レントゲン寫眞をとつて下さい。自分で気がついていなくても肺結核にかゝっていることがあります。
- (2) 軽い仕事は差支えありませんが筋肉を多く使う仕事はさげなければなりません。
- (3) 栄養に気をつけて睡眠を充分に取つて下さい。

II. 要休養

- (1) 肺に結核性の変化があつて、なお進行のおそれがありますから仕事を休み安静にして下さい。
- (2) 栄養に気をつけて人工気胸のできる人は早く受けて下さい。
- (3) 1カ月に1回は病状の進み具合を見るため「レントゲン」寫眞をとつて医師の指示を受けて下さい。
- (4) 一般状態がよく、痰の中に結核菌の出ない人は、人工気胸を受けながら軽い仕事をしても差支えありません。

III. 要療養

- (1) 肺結核が相当進んでおりますからなるべく入院して治療して下さい。
- (2) やむを得ず家庭療養をなさる場合は、常に医師の指導を受けて下さい。
- (3) よい空気、安静、栄養に気をつけて下さい。
- (4) 明るい希望をもつてしつかりした心がまえで療養しましょう。

不明のところや相談したいことがありましたら保健所にお出下さい。

昭和 年 月 日

東京都杉並保健所長 塚原國雄

種別	年月日 印		年月日 印		年月日 印		年月日 印		年月日 印	
	予									
防	ツ 反 應									
	B C G									
	腸チフス バラチフス									
接	種 痘									
	発疹チフス									
	コレラ									
種										
備										
考										

- 注
- 1 この証明書は、トラホー法、食品衛生法、食品衛生法、食品衛生法のお受けになり、診断の証明
 2. 汚したり、保存し、診断の記入
 3. 係員の要求に応じて下さい。

結核集團檢診月報 (X線)

對象名

實施担當機關名

区分 年令	性別	X線撮影人員			健康者	有所見者 X線撮影像区分									
		透視	間接	精密		I	IIA	IIB	IIC	II	IVA	IIB	IVC	V	計
0-4	男														
	女														
5-9	男														
	女														
10-14	男														
	女														
5-19	男														
	女														
20-24	男														
	女														
25-29	男														
	女														
30-34	男														
	女														
35-39	男														
	女														
40-44	男														
	女														
45-49	男														
	女														
50-59	男														
	女														
60以上	男														
	女														
總計	男														
	女														
計															
記事															

関東地区ニ于ル保健所講習會受講者名簿

府縣名	保健所名	所屬課名	職名	氏名	備考
東京	都衛生局	予防課	課長	興謝野光	三月二十九日 三月三十日
"	"	看護課	課長	平野五郎	"
"	"	"	係長	林夕衣	"
"	杉並保健所	所長		塚原國雄	"
"	"	予防課	課長	小原菊夫	"
"	"	予防課結核係	係長	渡部絹子	"
"	"	奉仕課看護	係長	稻吉ハツ工	"
神奈川	一	予防課	課長	鶴島修男	"
"	"	看護指導所	神奈川県 技術吏員	福田富栄技	"
"	小田原保健所	性病係		北村宏	"
"	"	予防課	婦長	野崎エウ子	"
"	藤澤保健所	結核係	技師	町田喜美子	"
横濱市	衛生局	保健課	課長代理	小田通男	"
"	"	"	保健婦	小野キヨ子	"
神奈川	横濱市 神奈川保健所	予防課結核係	醫務吏員	中谷昭三郎	"

連絡票 No. _____

殿

住所			連絡事項
氏名			
年令	職業		
病名			
			貴所御處理の結果については御手数ですが折返し別紙に御報告願います

No. _____ 回答書

氏名 _____

回答者名 _____

索引カード

カルテ番號

受付番號

氏名		年齢	住所		
紹介者		紹介理由		病名 件名	
世帯主名		世帯人員		處理方法	
開始 再起	年月日	授助内容		完打	結切年月日
.	.			.	.
.	.			.	.
.	.			.	.
.	.			.	.
.	.			.	.

醫療社會事業關係施設調査票

區(市、郡)名 _____ 電話 () 番
 保健所名 _____

施設名				事業	種別		
所在地	區市郡	町村	番地		內容		
公私別	所管	局	課	業	收容能力		
施設	經營主体					入所資格	
	代表者					入所料金	
	併設事業					入所手續	
國電		(裏面略圖)					
道順							
都電							

略 圖 共 の 他	備 考

合計	入院																
	外来																
	計																
本月の 完結、打切ケース	入院																
	外来																
翌月えの 継続ケース	入院																
	外来																

2. ケースの紹介者

所(院)内医師	保健婦	所(院)内各係	民生事務所	児童福祉司	所外医師、 助産婦等	ラジオ、 自發的	其の他	計

3. 相談の理由

入院(所) 検	診	人工妊娠中絶	助産	在宅療養、 治療	ユニセフ ラ	受配	料金減免	其の他	計

4. 相談の方法

面接				訪問				電話				文書				合計		
患者	家族	其他	計	患者	社会福祉 施設	医療 施設	其他	計	患者	社会福祉 施設	医療 施設	其他	計	患者	社会福祉 施設		医療 施設	其他

5. 援助の内容

生活 保護法 斡旋	社会 保険 斡旋	福祉法 斡旋	養給 補給 斡旋	入院 斡旋	妊娠 中絶 斡旋	使用料 減免	関係 施設 紹介	家族 検診 奨励	治療 継続 奨励	入院 療養 相談	調査 生活指導 其他	合計

取扱責任者氏名 _____

整理番號	調査 年 月 日	調査者
------	----------	-----

在宅療養者生活實態調査票

カルテ番號	住所	保健所
-------	----	-----

家族状況	氏名	続柄	性別	年齢	職業	學歷	健否(病名)	既往				検査結果
								ツ反	BCG	X	菌	
		主	男女									
			男女									
			男女									
			男女									
			男女									

同居者	世帯 人 (内 1才未満 人, 6才未満 人, 小學生 人)
-----	--------------------------------

医療	感染源 <small>家族(同居人、職場、学校、その他、不明)</small> 発病 <small>大正昭和</small> 年 月	発病原因 診定 <small>大正昭和</small> 年 月 日 (レントゲンでレントゲン無しで)	自覚症状 療養開始 <small>大正昭和</small> 年 月
	体温計 有 無 痰の始末 良 不良	家族感染を防ぐ処置を何か行っているか いる いない	
	医師よりうけている治療 <small>気胸 外科的 マイシン バス 他注射 他の服薬 冷皮</small>	医師以外よりうけている治療 <small>新とう灸はり 指歴</small>	放置
療	現在の治療に満足しているか いる いない	入院希望 有 無	申込んでから何ヶ月たつか 月
	医療費負擔別 生活保護法 健康保険法 自費負擔額	一日の中看護に費する時間	時間
	正しい医療を妨げているもの	調査者の感想	

住	自家 借家 アパート 間借 通風 良 普通 不良	採光 良 普通 不良	清潔度 良 普通 不良
	広さと疊數 坪 疊 病室 疊に	人寝る 病室の状況	専用 間仕切 雑居

同居者		世帯		人 (内 1才未満 人, 6才未満 人, 小學生 人)	
醫	感染源	家族 (同居人、職場、学校、その他、不明)		発病原因	自覚症状
	発病	大正昭和	年 月	診定	大正昭和 年 月 日 (レントゲンでレントゲン無しで)
	体温計	有 無	痰の始末	良 不良	家族感染を防ぐ処置を何か行っているか
	医師よりうけている治療	気胸 外科的 マイシン バス 他注射 他服薬 冷皮	医師以外よりうけている治療	祈とう 灸 はり 指壓	放置
療	現在の治療に満足しているか	いる いない	入院希望	有 無	申込んでから何ヶ月にか 月
	医療費負擔別	生活保護法 健康保険法 自費負擔額	圓	一日の中看護に費する時間	時間
	正しい医療を妨げているもの				調査者の感想
住居	自家 借家 アパート 間借	通風	良 普通 不良	採光	良 普通 不良
	清潔度	良 普通 不良	病室	疊に 人寝る	病室の状況
	専用 間仕切 雑居	調査者の感想			
經	扶助額	圓	扶助開始	昭和 年 月 日	その他の定收
	内職の収入	圓	内職の種類	患者の労働状況	
	夜具	敷布團 枚 掛布團 枚 毛布 枚	患者の着ている衣類		
	ラジオ	有 無	新聞	とる とらぬ	新聞名
濟	電燈	個	ワット		
	タンス	有 (サオ) 無	現在質入額	圓	全収入中の食費の割合 約 %
	最少限度もう何圓入ればと希望しているか				圓
精神状況	信仰	有 () 無	入信	大正昭和 年 月	入信動機
	家族間の融和	同居者、近隣との融和			
	現在一番困っていること	現在一番望んでいること			
	療養に積極的意志をもつか	不安に包まれているか		絶望的であるか	
	よい相談相手をもつか	調査者の感想			
その他	特に記録しておきたいこと			このケースは何を必要とするか	

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

患者及び家族の生活歴			
生活環境	見取圖	家の種別 構造 室數 畳數 採光 通風 湿度 衛生狀況 電燈 水井	室數 畳否 否 濕 不適 個 共
			近隣狀況 住宅問題
經濟狀況	收入	支出	
	勤勞收入	家賃	文化費
	病人收入	主食	
	公的扶助	副食費	衛生費
	傷病手當	電氣料	
	私人援助	燃料費	醫療費
	内職收入	教育費	
		被服費	
	税金	其他	
計		計	
赤字補填法	生活必需品調	資産負債其他	

職業及業態	職名
患者の個性	宗教其他
	趣味娛樂
問題	
援助計画	
結語	

	職業及業態	職名	勤務先	業態					
	患者の個性	宗教其他			未婚	既婚	寡夫 婦	別居	離婚
	問題	趣味娛樂		人生觀		性格			
近隣狀況	援助計畫								
住宅問題									
食生活	結語								

記録者名

受付番號

医療社会事業相談票

カルテ番號

昭和 年 月 日 開始
昭和 年 月 日 終了

担当者名

患者名	年齢	東京都	区市郡	町村	丁目	番地			
	性別	都府縣	区市郡	町村	丁目	番地			
紹介者	紹介理由	主治醫	保健婦名						
病 氣 と 醫 療	診断名	病氣程度 輕・中・重		醫療費					
	必要な處理 入院 在宅	傳染源及病歴	素因 先天的 後天的	病氣の理解受入程度					
家族 狀況 (別居、死亡者を含む)	家族名	續柄	性別	年齢	職業	收入	教育程度	健康状態	備考
同居人					家族との融和狀況				
親 族 、 友 人	氏名	關係	年齢	職業	住所	能力意志有無	備考		
親族友人との融和狀況									

